

## 小学校第1学年 道徳科学習指導案

- 1 主題名 しんせつにすると気持ちがいい 内容項目 [B 親切、思いやり]
- 2 ねらい 役割演技を通して、親切にしたときの気持ちよさに気づき、身近にいる人に温かい心で接しようとする心情を育てる。  
教材名 「はしの上のおおかみ」(出典:「みんなのどうとく1年」学研)

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいや指導内容について

内容項目 [B 親切、思いやり] について、小学校第1学年及び第2学年の内容は、「身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。」である。

相手に対する思いやりの心を持ち親切にすることは、よりよい人間関係を築く上で求められる基本的姿勢である。特に学校生活では、友達など様々な人と直接的に多様な関わり合いが求められる。その上で、相手の立場を考えたり、相手の気持ちを思いやったりすることを通して、思いやりや親切な行為の意義を実感できる機会をつくっていくことが重要である。

指導に当たっては、家族だけでなく身近にいる人に広く目を向けて、温かい心で接し、親切にすることの大切さについて考えを深められるようにすることが必要である。様々な人との触れ合いの中で、相手の喜びを自分の喜びとして受け入れられるようにし、具体的に親切な行為ができるようにすることが大切である。

#### (2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級は、明るく素直な児童が多い。困っている友達がいたら、優しく声を掛け、手を差し伸べる児童も多くいる。一方で、乱暴な言葉を使ったり、自分勝手な言動をしてしまったりする児童もいる。

第1学年の児童は、まだ自分中心の考え方をすることが多く、自分勝手な行動を押し通そうとして友達とけんかをしたり、周りの人に迷惑をかけたりすることがある。自分を客観的に見るのが難しい時期だからこそ、しっかりと自己を見つめられるようにしていきたい。

そこで、本授業を通して、さらに幼い人や高齢者、友達など、児童の身近にいる人に広く目を向けて、温かい心で接し親切にすることの大切さについて考えを深められるような心情を育てたい。

#### (3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、一本橋で出会う動物をいばって追い返していたおおかみがくまに出会ったとき、抱き上げて渡してくれたことに驚き、それから自分も同じことをするようになった話である。児童の実態をふまえ、主に次の場面を中心に話し合うことにする。

##### ① おおかみがうさぎを追い返したときの場面

ここでは、おおかみがどんなことを考えていたのか考えさせる。

##### ② おおかみがくまの後ろ姿をいつまでも見ていたときの場面

ここでは、「もどれ、もどれ。」に続いて考えていることを発言させ、意地悪することの醜さを考えさせる。

③おおかみがうさぎを抱き上げ、後ろにそっと下してあげた場面

ここでは、思いやりの心をもって接することができたときの気持ちよさについて考えさせる。

4 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「人間の尊厳・価値の尊重」）

自他のよさや違いを認め、一人一人かけがえのない大事な存在として、尊重しようとする態度を育てる。

5 人権教育上の視点

- (1) 相手の立場や気持ちを考え、自分自身や友達などを大切にして生活しようとする。  
(価値・態度)

6 学習指導過程

◎人権教育上の配慮

	学習活動・主な発問	予想される児童の発言	・指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 親切にされた経験について発表をする。 ・今までに、友達に優しくしてもらったことはありますか。	・転んだときに「大丈夫」と言ってくれた。 ・落とした消しゴムを拾ってくれた。 ・勉強を教えてくれた。	・親切にされたことを発表することで、本時の主題に対する興味関心を高める。
	しんせつについてかんがえよう。		
展開	2 教材について知る。 (1)教材の登場人物・条件・状況を知る。  (2)「はしの上のおおかみ」の読み聞かせを聞く。  3 教材を読んで話し合う。 (1)「もどれ、もどれ。」とって追い返したおおかみはどんな気持ちだったでしょうか。	【登場人物】 主人公…おおかみ うさぎ きつね たぬき くま  【条件・状況】 一本橋で次々と渡ってくる動物たちに「もどれ、もどれ。」と言って追い返し、意地悪をおもしろがっていたおおかみ。ある日、自分より大きなくまが橋を渡ってきて・・・  ・おれは強いんだ。 ・おもしろいな。 ・じゃまだ、じゃまだ。	・紙芝居で教材掲示することで視覚化を図り、内容理解を容易にする。  ・役割演技を取り入れ、追い返されたうさぎの嫌な気持ちや意地悪を楽しんでいるおおかみの気持ちに気付かせる。

展 開	<p>(2) くまの後ろ姿をいつまでも見ていたおおかみは、どんなことを考えていたでしょうか。</p> <p>(3) うさぎにしんせつにしたときのおおかみはどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <p>4 身近な人にできる親切について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでにどんな親切をしたことがありますか。そのとき、どんな気持ちがありましたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ くまはやさしいな。</li> <li>・ うさぎごめんね。</li> <li>・ どうしてくまは渡してくれたのだろう。</li> <li>・ なんだからうれしかったな。</li> <li>・ これからはくまみたいになろう。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いい気持ちだなあ。</li> <li>・ こころがすっきりするなあ。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おばあちゃんの荷物を持ってあげた。</li> <li>・ 友達が困っていたから声を掛けた。</li> <li>・ 親切にしたら相手が喜んでくれてうれしかった。</li> <li>・ 心がぼかぼかした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役割演技を取り入れ、親切について実際を伴って考えさせる。</li> <li>・ 意地悪な行動をされたうさぎの気持ちと比較させ、親切のよさを実感させる。</li> </ul> <p>☆ おおかみ、うさぎ、くまの立場から親切について考えている。【観察・発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシートにおおかみの気持ちを書かせる。</li> <li>・ 意地悪を楽しんでいたときの気持ちとも比較させる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書く活動を取り入れることで、自分自身をじっくりと見つめさせる。</li> </ul> <p>☆ 自分の体験を想起しながら、親切にしたときの気持ちを考えている。【表情・記述・発表】</p> <p>◎ 親切や思いやりについて多様な意見を取り上げ、それぞれのよさを認めていく。（価値・態度）</p>
終 末	5 教師の説話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童が優しく、親切にしていた様子の写真を紹介し、今後の意欲付けとする。</li> </ul>

7 他の教育活動との関連

	学級活動	道徳	生活科
事前	(4月以降) 「帰りの会」 ・ハッピータイムで友達のよい行動を発表し、お互いを認め合う。	(5月) 教材名「はやとのゴール」 ・親切な行為をしていこうとする態度を養う。	(5月) 単元名「がっこうだいすき」 ・2年生に優しく学校を案内してもらい、上級生の温かさに触れる。
事後	(12月以降) 「みんななかよし」 ・友達にありがとうの手紙を書いて掲示するとともに、言葉でも伝えて、お互いを大事にする。	(2月) 教材名「ないちゃった」 ・身近にいる人に温かい気持ちで接しようとする心情を育てる。	(2月) 単元名「もうすぐ2年生」 ・新しい1年生を学校に招待し、学校の様子を伝える活動を通して、優しく接しようとする心情を育む。

8 評価の視点


【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・親切な行為について、役割演技を通して複数の立場から考えている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・親切にすることの大切さを、自分との関わりの中でとらえ、考えている。

9 板書計画

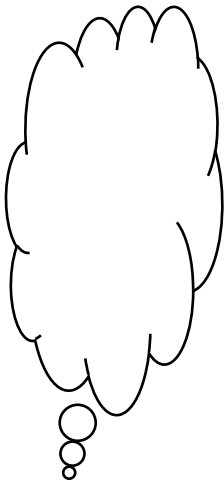


おもいやり  
しんせつ

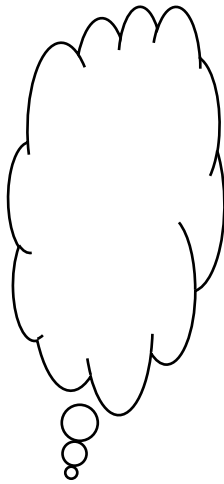
これまでどんなしんせつをしたことがありますか。そのとき、どんな気持ちがありましたか。

かだい


  
 はしの上のおおかみ  
しんせつについてかんがえよう



場面 3



場面 2



場面 1

気持ちがいい